

正式名称:日興新世代新興国株式ファンド

# ネクストBRICs (愛称)

## ファンドの概要

設定日: 2007年12月27日

償還日: 2017年12月4日

決算日: 毎年12月4日 (休業日の場合は翌営業日)

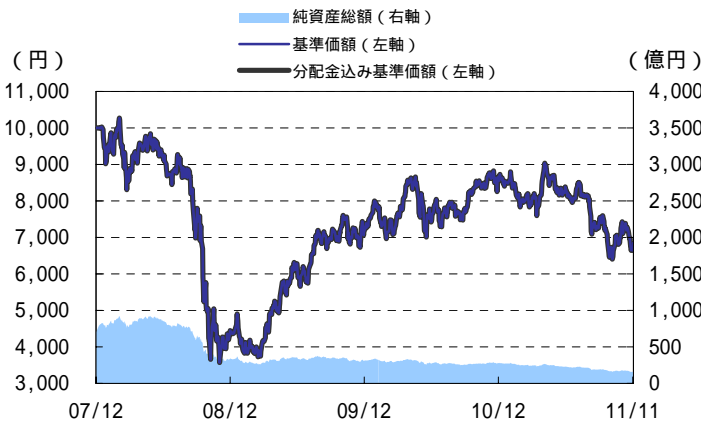
収益分配: 決算日毎



### [ファンドの特色]

1. 世界経済の牽引役として、BRICs(ブラジル・ロシア・インド・中国)に続くと期待される有望な新興国(=新世代新興国群)の株式を主な投資対象とします。
2. 国ごとに異なる特徴とグローバルな視点での株式評価に基づき、投資国および国別投資比率を決定します。
3. 中長期的な値上がり益の最大化をめざします。

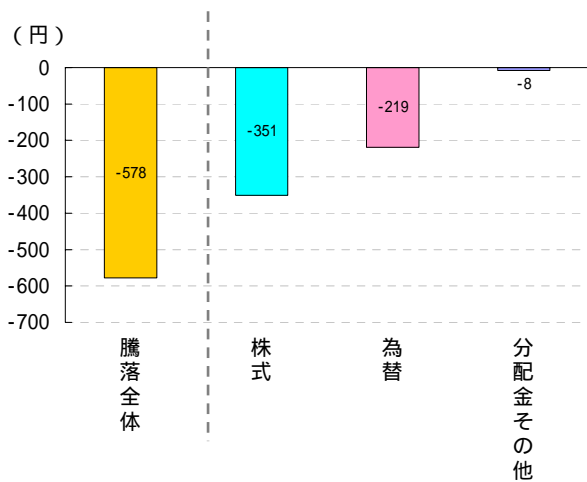
### < 基準価額の推移グラフ >



分配金込み基準価額は当ファンドに、分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

基準価額は、信託報酬(年率1.869%(税抜1.78%))控除後の値です。

### < 基準価額要因分解 (月次ベース) >



要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。  
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。

基準価額 : 6,854円

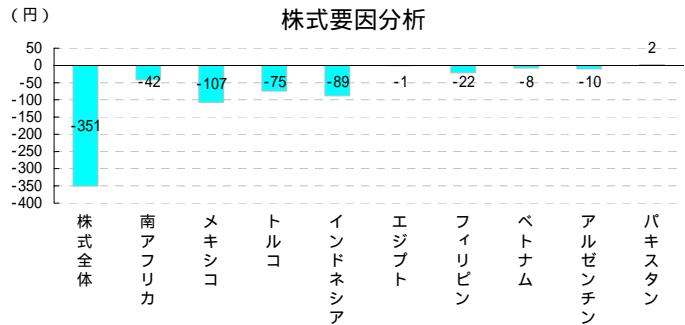
純資産総額 : 160.82億円

### < 基準価額の騰落率 >

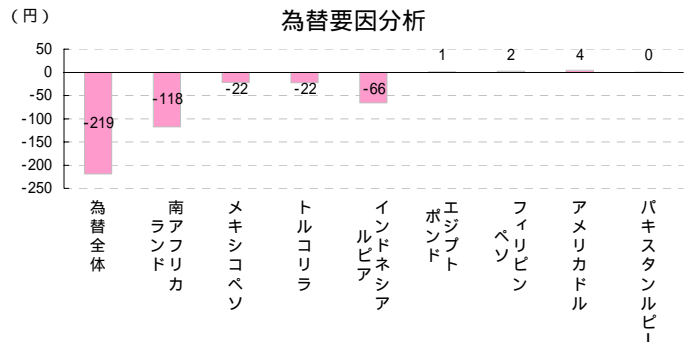
| 1 ヵ月   | 3 ヵ月   | 6 ヵ月    | 1 年     | 3 年    | 設定来     |
|--------|--------|---------|---------|--------|---------|
| -7.78% | -7.28% | -16.84% | -18.58% | 60.29% | -31.46% |

基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意下さい。

### 株式要因分析



### 為替要因分析



投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ネクストBRICs (愛称)

正式名称: 日興新世代新興国株式ファンド

< 分配金実績 (税引前) >

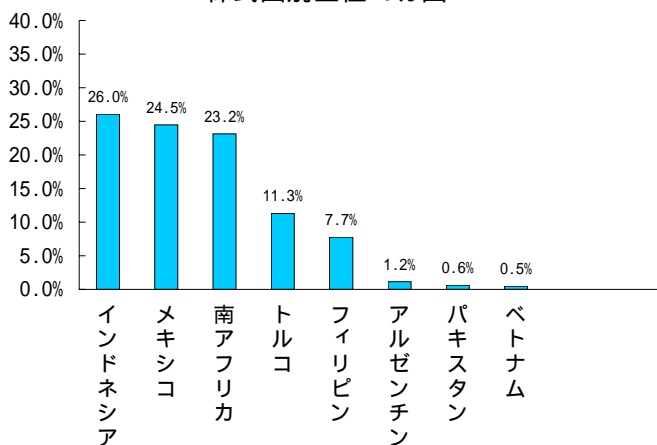
| 設定来 | 直近12期計 | 2008/12/4 | 2009/12/4 | 2010/12/6 |  |  |
|-----|--------|-----------|-----------|-----------|--|--|
| 0円  | 0円     | 0円        | 0円        | 0円        |  |  |
|     |        |           |           |           |  |  |
|     |        |           |           |           |  |  |

< 資産構成比 >

|       |       |
|-------|-------|
| 株式    | 94.8% |
| うち先物  | 0.0%  |
| 現金その他 | 5.2%  |

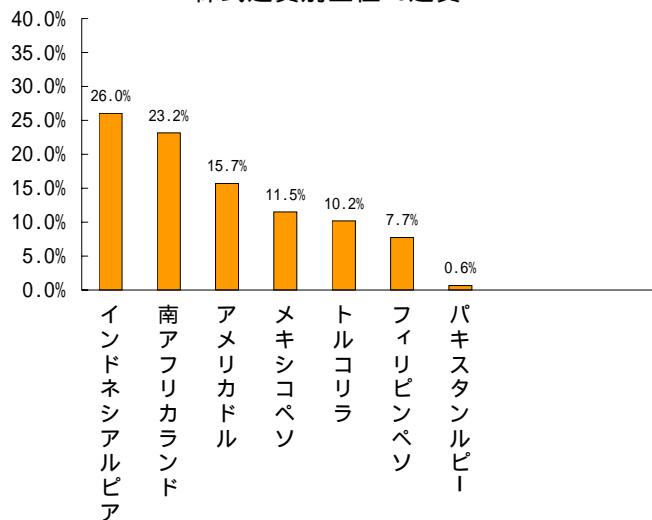
マザーファンドの投資状況を反映した実質の組入比率で、対純資産総額比です。

< 株式国別上位10カ国 >



マザーファンドの状況です。比率は対純資産総額比です。

< 株式通貨別上位10通貨 >



マザーファンドの状況です。比率は対純資産総額比です。アメリカドル建てのDR(預託証券)などに投資する場合は、国別比率と通貨別比率の数値が一致しない場合があります。

< 株式組入上位10銘柄 > (銘柄数 152銘柄)

|    | 銘柄                           | 国名     | 業種          | 比率    |
|----|------------------------------|--------|-------------|-------|
| 1  | AMERICA MOVIL-ADR SERIES L   | メキシコ   | 電気通信サービス    | 8.02% |
| 2  | ASTRA INTERNATIONAL TBK PT   | インドネシア | 自動車・自動車部品   | 4.39% |
| 3  | PT BANK CENTRAL ASIA         | インドネシア | 銀行          | 2.84% |
| 4  | MTN GROUP LTD                | 南アフリカ  | 電気通信サービス    | 2.71% |
| 5  | WALMART DE MEXICO -SER V     | メキシコ   | 食品・生活必需品小売り | 2.61% |
| 6  | SASOL LTD                    | 南アフリカ  | エネルギー       | 2.30% |
| 7  | PT TELEKOMUNIKASI            | インドネシア | 電気通信サービス    | 2.17% |
| 8  | BANK RAKYAT INDONESIA        | インドネシア | 銀行          | 2.17% |
| 9  | FOMENTO ECONOMICO MEX-SP ADR | メキシコ   | 食品・飲料・タバコ   | 2.13% |
| 10 | BANK MANDIRI TBK             | インドネシア | 銀行          | 1.88% |

マザーファンドの状況です。比率は対純資産総額比です。個別銘柄の取引を推奨するものではありません。上記銘柄については将来の組み入れを保証するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## ネクストBRICs (愛称)

正式名称:日興新世代新興国株式ファンド

## 運用コメント

## 運用概況

当月の基準価額は値下がりしました。欧州債務問題の飛び火とユーロ圏の解体懸念を背景に世界的にリスク回避姿勢が強まったことで、金融市場では引き続き緊張が高まりました。また、月半ばには米議会の超党派委員会が債務削減策で合意に達することができず、市場は一段と不安定な動きとなりました。原油を中心とする商品価格は、供給面の制約による影響が欧州の景気後退と世界経済全体の減速に対する懸念を上回り、底堅く推移しました。また、米国の感謝祭後の小売売上高が好調となり、米国は実際に二番底を回避できたとの見方が強まったことを受けて、月末近くには投資家心理が改善しました。今後も市場は非常に不安定な状態が続き、ユーロ圏の動向に大きく左右されると予想されます。欧州債務問題は終局を迎えつつあり、また、欧州は欧州連合を維持するために必要な手段を講じるだろうとの見方が市場では大勢を占めていると見られます。

## 投資環境

南アフリカ：株式市場、為替市場ともマイナスに寄与しました。国内消費は底堅く推移したものの、経済全体としては、悪化を続ける外部環境の影響を受けています。インフレ率は目標範囲の上限まで加速したものの、その最大の理由は食品価格の高騰であり、コア・インフレ率は低水準に留まっています。為替市場は、世界市場の動向と商品価格の変動に左右される状況が続いています。

メキシコ：株式市場、為替市場ともマイナスに寄与しました。内需関連指標が予想を上回り、外需の低迷を補うなど、経済活動は引き続き堅調です。海外労働者からの送金は拡大しつつあり、今後、消費を下支えするでしょう。為替市場は、米国の経済指標の改善を受けて月末に下落分の一部を取り戻しました。

トルコ：株式市場、為替市場ともマイナスに寄与しました。インフレ率の上昇が続いていますが、その一因として為替市場の大幅な下落が挙げられます。金融政策の枠組みは依然として複雑であり、施策のあいまいさが時に投資家心理に悪影響を及ぼしています。世界的な景気見通しの悪化にもかかわらず、トルコの内需は引き続き底堅く、経常赤字拡大の一因となっています。

インドネシア：株式市場、為替市場ともマイナスに寄与しました。インドネシア経済は、内需がけん引役となり、底堅い成長を維持しています。インフレ率の低下が続いていることを受け、中央銀行は政策金利を0.5%引き下げました。為替市場は、世界的なリスク回避姿勢を反映して短期的には不安定な状態が続くと見られますが、堅調な経済成長と力強い経済状況に下支えされると考えています。

エジプト：中央銀行は、為替市場を支えるため、インフレ率が低下し経済活動が鈍化しているにもかかわらず、予想に反して政策金利を1%引き上げました。しかし、政治の不透明感や国内の緊張状態に対する懸念によって、利上げの効果は損なわれています。延期していた選挙プロセスを再開したものの、政権交代や将来的な政策については依然不透明なままです。このプロセスは長期間を要し、その後新憲法が起草され国民投票で承認される必要があります。

このような状況を勘案して、当ファンドではエジプト株を全て売却しました。

フィリピン：株式市場はマイナスに、為替市場はプラスに寄与し、全体ではマイナス寄与となりました。海外労働者からの送金が増加したことを背景に、国内消費の拡大が続き、投資活動が活発化しています。世界的な需要低迷で商品貿易は減速しつつありますが、サービス輸出は底堅く推移しています。

アルゼンチン：株式市場はマイナスに、為替市場はプラスに寄与し、全体ではマイナス寄与となりました。経済活動は減速し始めており、外需の低迷や選挙後の景気刺激策の縮小、インフレ率の高止まりが国内消費に悪影響を及ぼすことを踏まえれば、今後も伸び悩むことが予想されます。

ベトナム：株式市場、為替市場ともマイナスに寄与しました。インフレ率は引き続き低下し、来年前半には大幅に低下すると予想していますが、そうなれば為替市場と外貨準備高の蓄積に有利に作用するでしょう。さらに、インフレ率の低下によって国内消費が後押しされ、来年はより緩和的な金融政策を行なう余地が生じると考えています。

パキスタン：株式市場は小幅にプラスに、為替市場は横ばいに推移し、全体ではプラス寄与となりました。10月は海外労働者からの送金が回復したことで経常赤字が縮小しましたが、経常赤字は依然として前年同期と比べて高水準にあります。コア・インフレ率の高止まりと為替市場の急落を受けて、中央銀行は政策金利を据え置きました。

## 今後の見通し

先進国は引き続き、低成長と巨額の債務という難題の中での舵取りを強いられています。ユーロ圏が景気後退に陥る確率は高まっているものの、それ以外の先進国は小幅ながら成長を続けていくと予想されます。欧州は危機を解決できるとの見方が大半であり、そうなれば新世代新興国市場を含む世界の株式市場にとって大きな追い風となるでしょう。しかし、債務問題は小規模な周辺国からイタリアなどの経済規模の大きい国にまで拡大しており、依然として重大な問題です。債務問題が抑制不能なほど悪化する前に、迅速に断固たる措置を取ることが鍵となります。依然力強い経済状況と、金融・財政刺激策の実施余地を豊富に残していることを背景に、新興国は底堅く推移すると見られます。それでもなお、すべての国が金融面での緊密な結びつきを通じて縛られていることに変わりはなく、今後も欧州の動向に注意が必要です。

**投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。**

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

## お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信 / 海外 / 株式  
 お申込単位 : (新規申込) 10万円以上1円単位 (追加申込) 1万円以上1円単位  
 別に定める場合この限りではありません。
- お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額  
 お申込不可日 : 取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 2017年12月4日まで (2007年12月27日設定)  
 決算日 : 毎年12月4日 (休業日の場合は翌営業日)  
 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。  
 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額  
 ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して8営業日目からお支払いします。  
 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。  
 課税上は、株式投資信託として取り扱われます。  
 詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

## 手数料等の概要

- ・お客様には、以下の費用をご負担いただきます。  
 <お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>  
 ・お申込手数料: お申込手数料率は、お申込金額に応じて、以下のようになります。
- |             |         |           |
|-------------|---------|-----------|
| 1億円未満       | 3.15%   | (税抜3.00%) |
| 1億円以上5億円未満  | 1.575%  | (税抜1.50%) |
| 5億円以上10億円未満 | 0.7875% | (税抜0.75%) |
| 10億円以上      | 0.525%  | (税抜0.50%) |
- 別に定める場合この限りではありません。  
 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
- ・換金手数料: ありません。  
 ・信託財産留保額: 換金時の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額 (1口当たり)  
 <信託財産で間接的にご負担いただく (ファンドから支払われる) 費用>  
 ・信託報酬: 純資産総額に対して年率1.869% (税抜1.780%) を乗じて得た額  
 ・その他費用: 組入価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など  
 その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。  
 当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。  
 詳しくは、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

## 委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
 投資顧問会社 : 日興アセットマネジメント アメリカズ・インク  
 受託会社 : 野村信託銀行株式会社  
 販売会社 : S M B C 日興証券株式会社

## お申込みに際しての留意事項

## リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者 (受益者) の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

## 価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

- 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- 新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- 投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

為替変動リスク

- 外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- 一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

カントリー・リスク

- 投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- 一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- 当資料は、投資家の皆様に「日興新世代新興国株式ファンド（愛称：ネクストBRICS）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認くださいのうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会： 社団法人投資信託協会  
 社団法人日本証券投資顧問業協会

お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称     | 登録番号     | 加入協会             |                 |               |                    |
|------------------|----------|------------------|-----------------|---------------|--------------------|
|                  |          | 日本証券業協会          | 社団法人日本証券投資顧問業協会 | 社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| S M B C 日興証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第2251号 |                 |               |                    |